

取扱説明書 と 保証書

この取扱説明書には、ピータイムの標準
取付方法及び注意が説明してあります。
本書をよく読んで理解してから取付及び
ご使用ください。本書は常に手もとにお
いてご使用中にわからないことや具合の
悪いことがおきたときにもよく読んで内
容を理解してご使用ください。

BeTime
328

目次

本機について

1. 各部の名称…………… 1
2. 取付け前の注意 …… 2
3. 使用上の注意 …… 3
4. 取付け時の注意とタップの使用法 …… 4
5. 配線システム図と仕様 …… 5

取付けについて

1. 取付け手順概略 …… 6
2. 動作検出方法の選択…………… 7・8
3. ストップ回路の方式と注意 …… 9
4. 専用ハーネス・リレー部の配線 …… 10
5. 専用ハーネスを車へ取付け …… 11
6. アース端子(黒コード)の正しい取付け …… 11
7. 受信アンテナの配線 …… 12
8. 操作部にコネクタをさし込む…………… 12
9. ボンネットスイッチの取付け…………… 13
10. ホーン機能について …… 13

セットについて

1. IDメモリーのセット時の注意とセット方法 …… 14
2. エンストポジションボリュームの調整…………… 15・16

3. 動作確認と対策方法

1. ストップ回路(Err-表示)の確認 …… 17
2. セルタイムの確認 …………… 17
3. エンストポジションボリュームの確認 …… 18
4. キースイッチ優先回路の確認 …………… 18
5. ホーン機能の確認 …………… 18
6. ボンネットスイッチの確認 …………… 18
4. リモコンについて …………… 19
5. 時計のセット …………… 20
6. タイマースターター時刻の予約のセット … 20
7. タイマースタートのキャンセル …………… 21
8. リモコン・タイマーでエンジンスタート
させた時のアイドリング時間の変更 … 21
9. マニュアルターボタイマーのセット …… 22
10. オートターボタイマーについて …………… 23
11. オートターボタイマーのセットと確認 … 23
12. オートターボタイマーの定数変更 …… 24
13. コードの収納・据付 …………… 25
- 車のL端子コードの色一覧表1 … 26**
- 車のL端子コードの色一覧表2 … 27**

本機について

本機について

1. 各部の名称

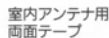
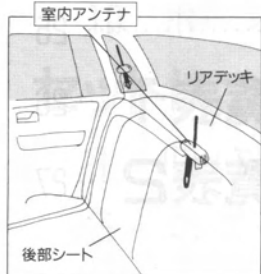
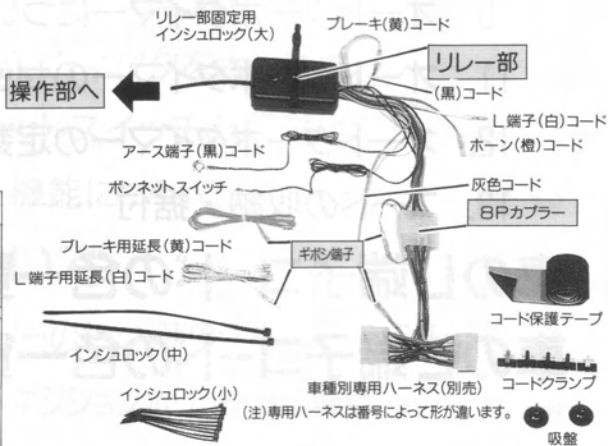
操作部



リモコン



リレー部へ



2. 取付け前の注意

- 保証書は必ず「販売店名印」「お買い上げ日」が記入されているか、記載の内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- ピータイムにはお買い上げの日から1年間の保証がついています。
(但し、使用方法及び、取付方法の誤りによる故障及び事故は保証の対象になりません。)

⚠ 危険

ピータイムは取付けや使用方法を誤ると事故や火災を招く恐れがあります。取扱説明書の注意をよく読み、理解してから取付けてください。



ピータイムは、ピータイム車種別専用ハーネス以外で取付けると、コードの容量不足や接触不良などによって事故や火災の原因となり危険です。

必ず、別売のピータイム車種別専用ハーネスで取付けてください。

(車種・型式・年式を確認の上「'96.7以降のピータイム専用ハーネス車種別適合表」より正しいものをお買い求めください。)



日産AT車へ取付ける人への注意

日産AT車は、ターボタイマースタート時にイグニッションキーが抜けなくなる車種と、抜ける車種があります。イグニッションキーが抜けなくなる車種には別売のキーロックリレーアダプターが必要です。特に平成5年以降の車種は、ピータイム車種別適合表にキーロックリレーアダプターの番号が記載されています。不要な車種もあります。

- キーロックリレーアダプター必要・不要の見分け方

キーロックリレーアダプター

必要——シフトロック解除ノブが有る車種

不要——シフトロック解除ノブが無い車種



ホーン機能を作動させる人への注意

ホーン機能を作動させるには、(別売)オプションBe-958ホーンリレーが必要です。Be-958を指示通りに取付けずにはホーン機能を作動させると本機の故障や車のヒューズを切るだけでなく、火災の原因となり危険です。

⚠ 注意

ピータイムは国産12VのAT車で、イグニッションキーのみでエンジンを始動することができる車に取付けできます。

従って、下記の車種にはピータイムを取付けしないでください。



エンジン始動直後、チャージランプが消えない車

(メカニカルディーゼル車は、エンジンが冷えている時に発生しやすいので確認してから取付けてください。)



24V車 (寒冷地仕様などでバッテリーが2個付いている12V車は取付けできます。)



マニュアルミッション車



キャブ車 (イグニッションキーのみでエンジンがかからない車)



輸入車

⚠ 注意

下記装置はピータイムを装着すると、正常に働かなくなる車種がありますので、ご容赦ください。



リモコンドアロック (リモコンでエンジンオフしてから、リモコンドアロックをご使用ください。)
セキュリティシステム (セキュリティシステムをオフにして本機をご使用ください。)



オートポジションステアリング&シート

(乗車時、リモコンでエンジンをオフしてからイグニッションキーでエンジン始動してください。レジエントは、取付け時に解除しなければならないため、当社サービス部へご一報ください。)



オートヘッドランプ

(降車時、オートヘッドランプをオフにしてからイグニッションキーを抜いてください。)

本機について

3. 使用上の注意

⚠ 注意

事故・火災などの危険性がある、下記の状態や場所での使用はしないでください。



公道や公共の駐車場での使用は法令違反となります。必ず私有地でご使用ください。



排気ガス中毒の危険性がある、換気の悪い車庫や屋内での使用はしないでください。



ボディカバーを掛けたままの使用はしないでください。



火災の危険性がある、燃えやすい物の近くでは使用しないでください。



暴走事故を防止するため、イグニッションキーをオフにする時はATシフトをPポジションに入れ、ハンドブレーキを確実に利かしてから行なってください。

特に、日産AT車でキーロックリレーアダプターを装着した車は、Pポジション以外でもイグニッションキーを抜くことができるため、必ず守ってください。



けがや事故を防止するため、ボンネットを開けている時や、他の人が車を使用する時は、ピータイムの電源をオフにしてください。

IDメモリーはすでに
8888 → 3aad

バッテリー上りや車の暴走などの危険を防止するため、バッテリー交換後など一端ピータイム本体の電源が切れた場合は、電源復帰直後に必ずIDメモリーのセットを行なってください。

⚠ 注意

車の故障又はピータイムの機能上の支障の可能性があり、下記の使用法は注意してください。

- ピータイムでエンジンがかかっている時に、エンジンキーをセルまで回すと、セルモーターが故障する恐れがありますので、オンの位置で止めてください。
- リモコンのケースやアンテナを手で包み込むと電波の飛距離が短くなります。
- ピータイムでエンジン始動後、ホーン機能によるエンジン始動確認を行なうためには別売のホーンリレー (Be-958) を指示通り取付けてください。
- 車のバッテリー上りを防止するため、1週間以上車を使用しない時は、操作部のコネクタを抜いてください。但し、全てのメモリーが消失する為、再使用する場合操作部にコネクタをさし込んだ直後にIDコードを含む全てのメモリーを入れ直してください。
- 下記原因などで、オートターボタイマー機能が正常に作動しない車があります。この場合、ターボタイマーを使用する時はマニュアルターボタイマーをご使用ください。
 1. 消費電力が大巾に変わった時 (ライト・熱線など)
 2. モーターの回転に変化があった時 (デュアルエアコン・ワイパー・電動ファンなど)
 3. オルタネータの充電が不安定又は変化があった時
- ピータイムのパワーオン/オフ時には、安全確認を行なうためイグニッションキーオフ後、エンジンが停止するまで、若干のタイムラグがあります。

本機は、電波法に基づく特定小電力無線局の技術基準適合証明を取得していますので、無線局の免許申請は不要です。従って、以下のことを守ってください。

- ① 製品に付いている表示は、技術基準適合証明マークです。
- ② 表示マークの付いている製品を郵政大臣の許可無しに改造して使用することはできません。
- ③ 改造すると法律により罰せられます。

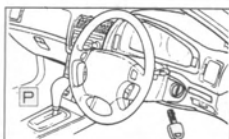
4. 取付け時の注意とタップの使用法

▲危険

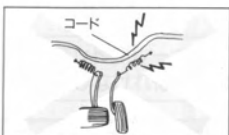
取付け方法を誤ると、月日が経ってからでも1~5のような事故を招く恐れがあります。

1. 車や車庫などの火災
2. 人身、物損事故
3. 走行不能
4. セルモーター・バッテリー・コンピュータなどの破損
5. ビータム本体の破損

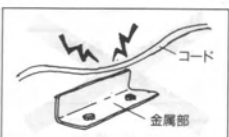
以下の1. **取付け時の注意**、2. **取付け前の注意** 及び3. **使用上の注意** をはじめ、各項目の指示をよく読み、理解してから取付けてください。



- 作業前に必ず、タイヤの前後に輪止めを利かせてください。
- ATシフトはPレンジへ、ハンドブレーキはしっかり利かせてください。

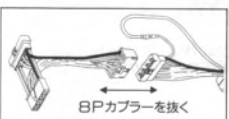


- ビータムのコードが車の金属部(ペダル・スプリング・鋭利な鉄板など)に触れていると、月日が過ぎてからコードの被覆が削れて、ショートする恐れがあります。

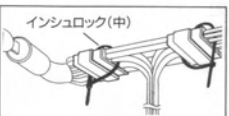


- コードが金属部に触れないように、インシュロック(小)を使って配線してください。
- コードが触れそうな金属部に、コード保護テープを貼ってコードを保護してください。
- コードの配線確認や配線のやり直し等を考えて、コード保護テープは貼り直しができませんので、必ずコードではなく、金属部に貼ってください。
- ビータムを設置する時はヒーターの出口や直射日光など熱くなる場所ををさけてください。

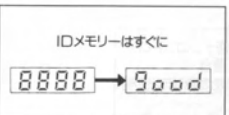
重要



- 取付け作業中に「異常かな」と感じた時は、すぐに専用ハーネスとリレー部を結ぶ8Pカプラーを抜いてください。



- 専用ハーネスにロック機構の付いていない場合は、インシュロック(中)を使用し抜けないようにしてください。

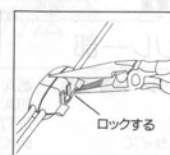
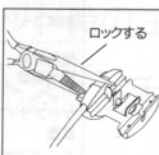
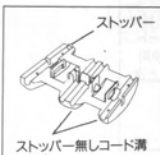


- コンピューターの暴走で事故・故障を防止するため、専用ハーネスと操作部アース端子の取付け直後は、必ずIDメモリーのセットを行なってください。

■タップの使用法

●タップの使い方が誤っていると、接触不良または、ボディへのショートなどが発生し危険です。下記の手順で使用してください。

1. タップを図のように見る
2. ストッパー付コード溝に本機のコードをはさむ
3. プライヤーなどでロックする
4. ストッパー無しコード溝に車側のコードをはさむ
5. プライヤーなどでロックする



1. 取付け手順概略

動作検出方法の選択

1. オルタネータのL端子で検出する方法を選択しなければならない車種は、

L端子(白)コードの配線及びセット方法

操作部裏の検出スイッチを
1→L・2→Lにする

2. 電源から自動検出する方法を選択する場合は、

電源から自動検出する場合のセット方法

操作部裏の検出スイッチを
1→A・2→Aにする

ストップ回路の方式と注意

1. フットブレーキへ配線する方法を選択しなければならない車種は、

ブレーキ(黄)コードをフットブレーキへ配線する方法

ブレーキ(黄)コードをフットブレーキにタップで結線する
フットブレーキを(踏んで12Vになるストップランプ)
(放してOV スイッチのコード)

2. ATシフトストップの方法を選択する場合は、

ATシフトストップの方法を選択する場合

リレーボックススイッチ1か2を選択

専用ハーネス・リレー部の配線

1. 専用ハーネスの8Pカプラーとリレー部の8Pカプラーをさし込む
2. 専用ハーネスの仕様によって①②③の配線方法から選択して作業する

注意 ②③に該当する専用ハーネスは灰色コードのさし替えを必ず行なってください。

専用ハーネスを車へ取付け

アース端子(黒コード)の正しい取付け

受信アンテナの配線

操作部にコネクタをさし込む

IDメモリーのセット時の注意とセット方法

ボンネットスイッチの取付け

取付けについて

2. 動作検出方法の選択

■ピータイムはエンジン始動やオートターボタイマーの動作検出を2パターンの方法のいずれかを選択して取付けします。

1 オルタネータのL端子で検出する方法 を選択しなければならない車種 (検出の確実性→高)

トヨタ クラウン(120・130系)・デュアルエアコン装備車

日産 セドリック・グロリアなど(G・Y系)・ディーゼル全車・デュアルエアコン装備車

三菱 ディーゼル全車・インベックスII装備車

いすゞ ディーゼル全車

その他の車種でも、電装品のノイズが多い車・低温時のアイドリングが低い車などは検出の確実性の高いオルタネータのL端子で検出する方法を選択してください。

2 電源から自動検出する方法 を選択する場合

(検出の確実性→中)

- 1. のオルタネータのL端子で検出する方法に対し、取付けが簡単になりますが、電源ノイズの影響を受けやすいため、エンストポジションボリュームの調整を電装品の使用状態に合せ直さなければならない場合があります。
- 1. のオルタネータのL端子で検出する方法でL端子が基準電圧外の場合、電源から自動検出する方法を選択してください。

■L端子の見つけ方

L端子は、車のオルタネータ(発電機)から出ている細いコード2〜3本のうちの1本です。

L端子の基準電圧は (イグニッションキーON(エンジンがかかっていない)の状態) 4V以下
(イグニッションキーON(エンジンが始動している)の状態) 6V以上

注意

- L端子が上記基準電圧外の車はエンジン始動やオートターボタイマーの検出ができません。
- L端子コードはL端子コードの色一覧表を参考にみてください。

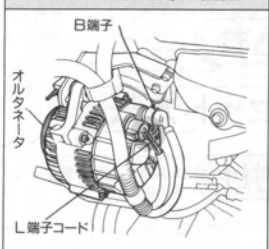
■トヨタ車(A型エンジン以外)の大半の車は下記の場所でもL端子検出ができます。(注意1)

(注意1)トヨタ車で①②③が無い車、又はあってもL端子基準電圧外の車もあります。したがって配線前に必ずL端子電圧が基準電圧になっているかを確認してください。

オルタネータの平均的な位置

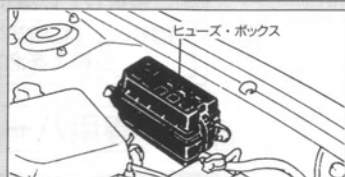


L端子の平均的な位置



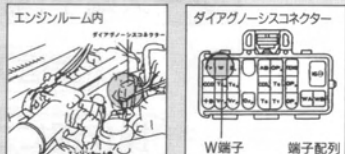
1

エンジンルームのヒューズボックス内のチャージヒューズ (大半のトヨタ車)



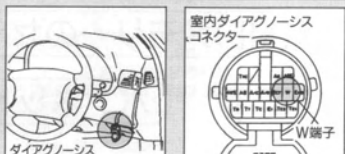
2

エンジンルーム内にあるDAIAGNOCIS(ダイアグノーシス)のW端子 (大半のトヨタ車)



3

室内にあるDAIAGNOCIS(ダイアグノーシス)のW端子クラウン系・ソアラ・スープラ等



取付けについて

1 オルタネータのL端子で検出する方法

▲注意

- L端子(白)コード及び、延長(白)コードが車の金属部にショートすると車の故障や火災の原因になります。そのコードが触れそうな金属部にはコード保護テープを貼りつけ、インシュロック(小)を使用して保護してください。(コードの配線確認や、配線のやり直し等を考えて、コード保護テープは貼り直しができませんので、必ずコードではなく、金属部に貼ってください。)
- L端子にコードを配線する時は、必ずイグニッションキーを抜き、ピータイムの電源を切った状態で行なってください。

オルタネータへ配線したケースで説明してあります。

1. ATシフトをPにしてイグニッションキーを抜く
2. エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキンなど、コードが通る場所をさがす
3. コードが通るようにカッターナイフなどで、ゴムパッキンなどを切り穴を開ける

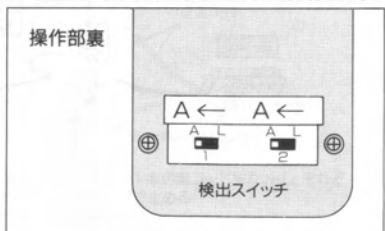
4. 切った穴にL端子延長(白)コードをギボシ端子の付いていない方から入れる
5. 車のL端子コードまでL端子延長(白)コードを配線する
6. 車のL端子コードと、配線したL端子延長コードを付属の赤タップで結線する

7. リレーボックスから出ているL端子(白)コードと、L端子延長(白)コードをさし込み、操作部裏の検出スイッチ1・2を共にLにセットする。

2 電源から自動検出する方法

動作検出方法の選択 で 1 オルタネータの L端子で検出する方法 を選択しなければならない車種以外とL端子が基準電圧外の車は電源から自動検出する方法ができます。しかし、動作検出の確実性を求めるなら 1. のオルタネータのL端子で検出する方法を選択してください。

■検出スイッチのセット方法
操作部裏の検出スイッチ1・2を共にAにする(L端子(白)コードの配線不要)



取付けの順序

取付けについて

3. ストップ回路の方式と注意

■ピータイムはイグニッションキーをONまで回さずに走行すると操作部の表示部にエラー表示を約5秒間出してエンジンをストップさせます。また、エラー表示が消えれば元のスタンバイ状態に復帰するので電源の入れ直しが不要です。

ピータイムのストップ回路は **1 フットブレーキ(ストップランプスイッチ)へ配線する方法** とATシフトレバーをPポジションからRポジションへ移動した時に自動ストップする **2 ATシフトストップの方法** があります。下記の指示に従って選択してください。

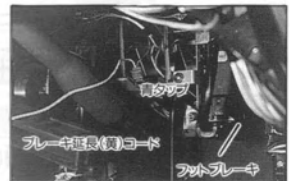
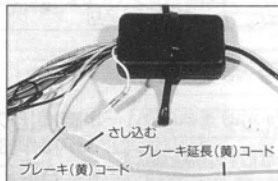
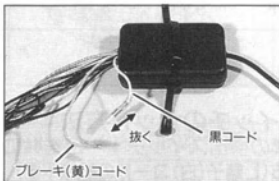
1 フットブレーキ(ストップランプスイッチ)へ配線する方法 を選択しなければならない車種

▲注意 下記に該当する車種で、フットブレーキ配線を行なわなかった場合、車の故障を招く恐れがありますので、必ずフットブレーキ配線を行なってください。

- トヨタ ワンボックス車とディーゼル車とオートエアコン装着車
- 日産 全車(ディーゼル車含む)
- 三菱 デリカ(スペースギア・スターワゴン)
- ホンダ レジェンド全車
- ピータイムでエンジン始動した時にセルが回り続ける車種
- エアバックなどの警告ランプが点灯する車種
- 2 ATシフトストップの方法** で、リレーボックスのATシフトストップスイッチを1、2のどちらかに設定してもエンジンが止まらない車種
- 2 ATシフトストップの方法** で、ATシフトレバーを移動しなくても操作部の表示部がエラー表示を出してしまい、ピータイムでエンジン始動ができない車種(注意)リレー部から出ているブレーキ(黄)コードと黒コードのギボシが抜けているとエラー表示が出てしまいます。

■ブレーキ(黄)コードをフットブレーキへ配線する方法

- 1.** リレー部のブレーキ(黄)コードと黒コードのギボシを抜く
- 2.** ブレーキ用延長(黄)コードとブレーキ(黄)コードのギボシをさし込む(黒コードは抜いたまま)
- 3.** ブレーキ用延長(黄)コードをフットブレーキを踏んで12V、放して0Vのコードへタップで結線する



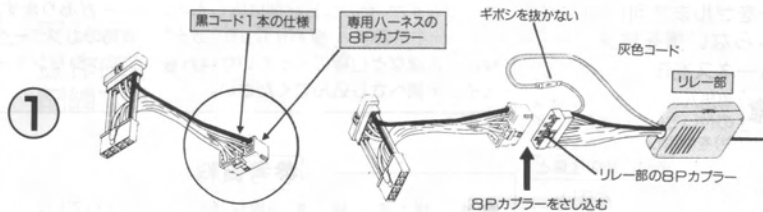
4. 専用ハーネス・リレー部の配線

■下記の説明図はBe-151の専用ハーネスをモデルとしています。

下記の①②③から専用ハーネスの番号と黒又は灰色コードの仕様を確認のうえ、それぞれの配線方法に従って作業を行ってください。

専用ハーネスの8Pカプラーに黒コードが1本の場合の配線方法

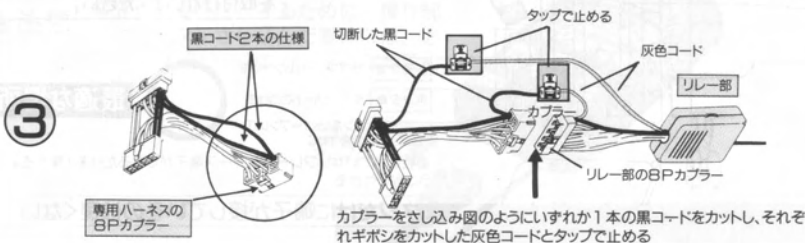
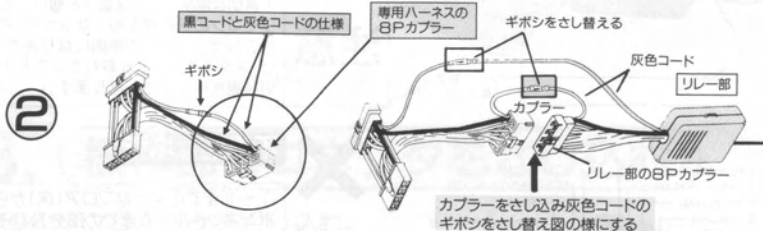
専用ハーネス番号	灰色コードのギボシを抜かずにかプラーをさし込む	156	161	241	351	352
		353	354	355	455	458
		553	554	555	651	652
		751	752	753	754	755
		851	852	853	854	855
		856	857	858	859	860
		861	862	863	864	865



専用ハーネスの8Pカプラーに黒コードが2本又は、黒色と灰色コードがある場合の配線方法

専用ハーネス番号	灰色コードのギボシを抜き替えてかプラーをさし込む	151	152	153	154	155	157
		158	160				
		251	252	253	254	255	256
		258	259				
		451	452	453	454	456	
		551	552	653			

この灰色コードのさし替えは必ず行なってください。灰色コードのさし替えを行わない場合、エアコンが正常に動作しない、ATシフト変更ストップが働かない、アイドルリングが不安定になる、オルタネータの破壊、バッテリー上がり、車のコンピュータ破壊などを引き起す車種があります。よって誤りのない様に配線してください。



取付け手順

取付けについて

5. 専用ハーネスを車へ取付け



品番別専用ハーネス取付け位置図

一般車	イグニッションキースイッチの裏から10~30cmにカブラーがあります。
イグニッションキー スイッチ直付	Be-155・160・161・253・259・352・354・ 355・453・454・455・458・651・863
ヒューズボックス付近	Be-852・853・856・857・864・865
イグニッションキー付近とヒューズボックス付近の2箇所	Be-854・855・858・859・860
プレリユード (Be-858)取付注意	ステアリング右下に3P、ヒューズボ ックス上に5Pをさし込む ステアリング右下に5Pを結線するとピータイムのIGが壊れ ます。
Be-351	は合計3個のカブラーをはずし専用ハーネスを取 付けるのですが、そのうち2個は同じ形のカブラーがあります。 専用ハーネスの(緑/白)線・(黄/白)線のある方を車側のカブラーへ 緑線・黄線など白線の入っていない方をイグニッションキー スイッチ側へさし込んでください。

- 品番別専用ハーネス取付け位置図を参考にイグニッションスイッチのカブラーを見つけてる。
- イグニッションスイッチのカブラーを抜いて、イグニッションキーをセルまで回し、車の電源が入らない事を確認する。
- 専用ハーネスを車に取付ける。

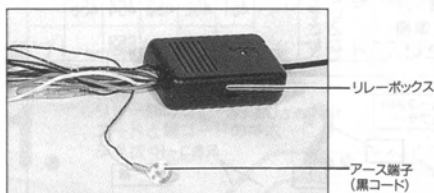
▲注意 専用ハーネスにロック機構の付いていない場合は、インシュロック(中)を使用して抜けないようにしてください。4. 取付け時の注意とタップの使用法を参照してください。

- キーロックリレーアダプターの必要な日産AT車はキーロックリレーアダプターのパッケージに印刷してある配線方法に従って取付ける。

参考資料

- (緑/白)線・(黄/白)線・(黄/白)線など白ラインの入っているコードを車側へ、白ラインの入っていないコードはイグニッションキースイッチ側へさし込んで下さい。
- 専用ハーネスのみ(ピータイム本体を取付けてない)を取付けたときはセルは回りますが、エンジンはかかりません。

6. アース端子(黒コード)の正しい取付け



- アース端子を下図と注意を参考に取付けてください。
- コンピューターの暴走で事故・故障を防止するため、IDメモリーのセットをすぐに行なってください。

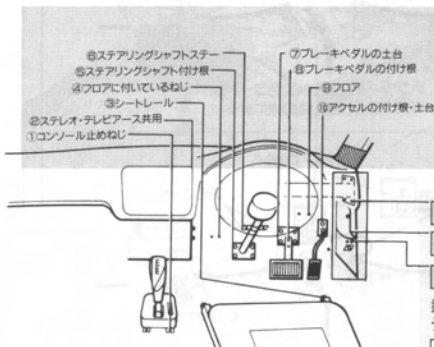
注意

不適切な場所へアース端子を取付けるとリモコンの飛距離が短くなったり、その他のトラブル発生の原因になります。(テスターでアースが取れていても不適切な場所はたくさんあります。)



不適切な場所

①~⑩までのようなフロア(床)からボンネットルームまでの部分及びそれに付いている部分にはアース端子を取付けしないでください。



トヨタ車 サブフレームのつけ根

ホンダ車 ダッシュボードのつけ根

日産車 ボンネットオープナーの取付ねじ

塗装されていないフレームへアース端子ができるだけ多く接するように取り付ける

ネジだけに端子が接しているのは良くない

最適な場所

取付けについて

7. 受信アンテナの配線

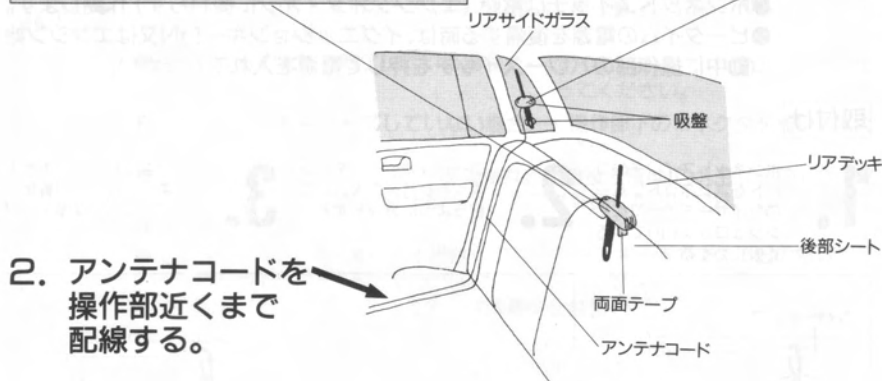
1. 受信アンテナ取付け場所を決定する。

リアデッキのある車

受信アンテナは後部シートとリアデッキの間にさし込み、アンテナ台の底部に両面テープを貼り付けます。

リアデッキのない車

受信アンテナはリアのサイドガラスなどに付属の吸盤で取付けます。



3. アンテナプラグを操作部のアンテナジャックにさし込む。



8. 操作部にコネクタをさし込む

●操作部にコネクタをさし込む。



注意 事故や故障を防止するために、操作部にコネクタをさし込んだ直後には、必ずIDメモリーのセットを行なってください。

コネクタをさし込む



取付けについて

9. ボンネットスイッチの取付け

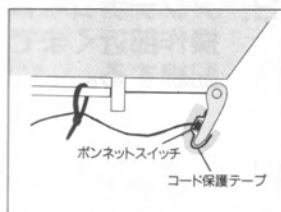
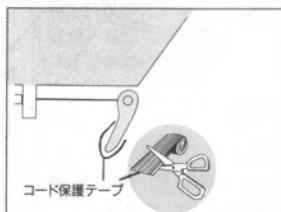
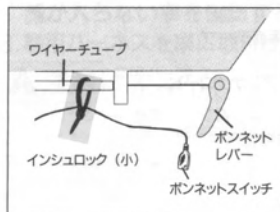
注意 万一の事故を防止するため、ボンネットスイッチはボンネットレバーに取付けてください。但しワンボックス車などボンネットレバーのない車はニッパなどでボンネットスイッチのコードをカットしてください。

はたらき

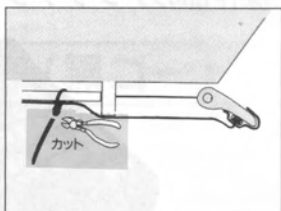
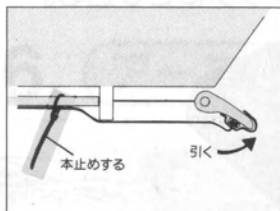
- ボンネットレバーを引いてボンネットスイッチが押されるとピータイムの電源がオフになります。(Err-表示は出ません)
- ボンネットスイッチは常時(エンジンオン・オフに関わらず)作動します。
- ピータイムの電源を復帰する時は、イグニッションキーON又はエンジン始動中に操作部のパワースイッチを押して電源を入れてください。

取付け

1. ボンネットスイッチのコードをボンネットレバーのワイヤーチューブにインシュロック(小)でゆるく仮止めする
2. コード保護テープをボンネットレバーの大きさに合うようにカットする
3. ボンネットスイッチをボンネットレバーの裏側にあて、コード保護テープで止める



4. ボンネットレバーを最後まで引いて、インシュロック(小)を本止める
5. インシュロックの余りをニッパなどでカットする



10. ホーン機能について

注意

- ホーン機能を作動させるには(別売)オプションBe-958ホーンリレーの配線を行わないと機能しません。
- Be-958ホーンリレーを使用せずに配線を行なうと、エアバックの誤作動、車のホーンヒューズ切れ及びピータイムが故障する恐れがあります。

はたらき リモコンやタイマーでエンジンスタートしてカウントダウン中にリモコンのスイッチをスタート側へスライドするとホーンでエンジンが始動していることをお知らせします。

取付け Be-958ホーンリレーの取扱説明書の指示に従ってください。

1. IDメモリーのセット時の注意とセット方法

IDメモリーのセットとは、

リモコンのIDをピータイムの操作部に記憶させることで、他のリモコンや他の電波による誤作動を防止させています。
また、IDメモリーのセットを行っていない時は、ピータイムの電源が入りません。



危険

IDメモリーのセットを行っていない状態は、車の暴走・故障・バッテリー上りなどの原因となり危険です。

- ピータイムの配線が終了している場合 → すぐにIDメモリーのセットを行ってください。
- ピータイムの配線が終了していない場合 → 操作部下のコネクタを抜いてください。
- ピータイム取付け後やバッテリー交換後など電源投入後はIDメモリーのセットをすぐに行うか、又は、操作部下のコネクタを抜くかのいずれかを行ってください。
- IDメモリーのセットを行なう時はイグニッションキーを抜き、下記の電源を切って行ってください。
 1. セキュリティシステム（盗難防止装置）
 2. ドアブザー
 3. 携帯電話
 4. テレビ・ラジオ等
 5. その他の強い電波のある場所

■IDメモリーのセット方法

1.

車の電装品を全てOFFにしてからATシフトをPにしてイグニッションキーを抜く



2.

ボリューム用ドライバーでリセットスイッチを押してはなす



3.

ディスプレイに8888が点灯しすぐに消える



4.

リモコンのアンテナを伸ばし、スイッチをスタート側へ2~3秒スライドさせる（LED点灯）



5.

ディスプレイにgoodが点灯しすぐに消える



IDメモリーのセット終了

セットについて

2. エンストポジションボリュームの調整

重要

- エンストポジションボリュームを調整していないと、エンジン始動検出ができない場合があります。
- 2. (動作検出方法の選択)で 1 オルタネータのL端子で検出する方法 を選択した場合、 2 電源から自動検出する方法 を選択した場合でエンストポジションボリュームの調整方法が違います。

エンストポジションボリュームとは、

エンジン始動の判断やオートターボタイマーの検出を、電源（オルタネータのL端子又は電源）からオルタネータの充電信号を検出して判断するための基準をエンストポジションボリュームで調整します。

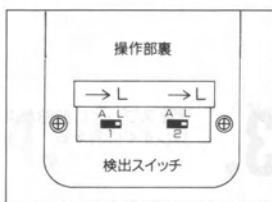
エンストポジション調整の目安

イグニッションキーON (エンジンが始動していない)	イグニッションキーON (エンジンが始動している)
ディスプレイの ドット →消	ディスプレイの ドット →点灯

■エンストポジションボリュームの調整方法

1 オルタネータのL端子で検出する方法 を選択した場合 L端子(白)コードの配線を行なった場合

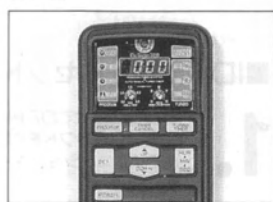
1. 操作部裏の検出スイッチを 1→Lと2→Lにする



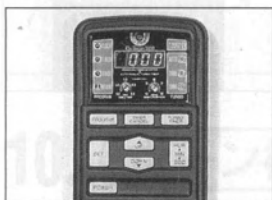
2. エンストポジションボリュームをボリューム用ドライバーで10にする



3. イグニッションキー(エンジンが始動していない)にして、時計モードにする



4. ディスプレイのドットが消えていることを確認



L端子の基準電圧

- ①イグニッションキーON(エンジンが始動していない)で4V以下
- ②イグニッションキーON(エンジンが始動している)で6V以上

ディスプレイのドットが点灯していた場合は

L端子の基準電圧①が基準を超えています。

対策 2. (動作検出方法の選択)を参考に配線を確認してください。

トラブル この時、ディスプレイのドットが点灯していると、ピータイムでエンジン始動した時エンジン始動した・しないに関わらず、始動したと判断しカウントダウンします。

5. イグニッションキーでエンジンを始動し、ディスプレイのドットが点灯していることを確認



ディスプレイのドットが消えていた場合は

L端子の基準電圧②が基準を下回っています。

対策 エンジン始動後チャージランプが消えているなら、
●L端子(白)コードのタップの咬が甘くないか？
●L端子のコードでない線にL端子(白)コードを結線していないか？

エンジン始動後チャージランプが点灯しているなら、
●オルタネータが発電していません。

トラブル この時、ディスプレイのドットが消えている場合、ピータイムでエンジン始動を行なうと、「エンジン始動後すぐに止まる」を3回繰り返します。

セットについて

去て業成ら器野升機 .8

2 電源から自動検出する方法 を選択した場合 L端子(白)コードの配線をしない場合

- 電源から自動検出する方法を選択した場合、下記の影響でエンストポジションボリュームの調整をやり直さなければ検出できない（正常動作しない）場合があります。
 1. 消費電力が大巾に変わった時（ライト・熱線など）
 2. モーターの回転に変化があった時（オートエアコン・デュアルエアコン作動、ワイパー速度、電動ファン作動）
 3. オルタネータの充電が不安定又は変化があった時
- 動作検出の確実性を求める場合は、**1 オルタネータのL端子で検出する方法**に変更してください。

1.

操作部裏の検出スイッチを1
→Aと2→Aにする



操作部裏
検出スイッチ

2.

イグニッションキーON(エンジンが始動してない)にして時計モードにする



3.

電装品(エアコン等)を通常使用状態にする



4.

エンストポジションボリュームをボリューム用ドライバーで10にする



5.

エンストポジションボリュームを左方向へ回し、ディスプレイのドットが消える所から2目盛り左方向で止める



6.

イグニッションキーでエンジンを始動し、ディスプレイのドットが点灯すればOK



ディスプレイのドット変化に対する対策方法と動作傾向

ディスプレイのドット変化		良否	対策方法 (エンストポジションボリューム)	動作傾向
イグニッションキーONで				
エンジンが始動してない時				
エンジンが始動している時				
1	ドット ○ 消えている	ドット ● 点灯	○ 調整不要	正常動作
2	ドット ○ 消えている	ドット ○ 消えている	× 右側へ回して調整	ピータイムでエンジン始動時、「エンジンがかかり、すぐに止まる」を3回繰り返す。
3	ドット ● 点灯	ドット ● 点灯	× 左側へ回して調整	
4	ドット ★ パッシング	ドット ● 点灯	× 左側へ回して調整	
5	ドット ○ 消えている	ドット ★ パッシング	× 右側へ回して調整	
	ドット ○ 消えている	ドット ★ パッシング	× 右側へ回して調整	

エンストポジションボリュームを調整しても**1**にならない場合は、**1 オルタネータのL端子で検出する方法**に変更してください。

セットについて

3. 動作確認と対策方法

▲ 注意

事故・故障などを防止するためリモコンでエンジン始動のテストを行なって、各動作確認を必ず行なってください。動作確認で正常に働かない場合は下記の対策方法にて対処してから使用してください。

リモコンでエンジン始動のテスト

- IDメモリーのセットが行われていないと作動しません。
- ATシフトはPポジションにしてください。
- イグニッションキーは、OFFにしてください。

1.

リモコンのスイッチをスタート側へ、2〜3秒スライドさせる (LED点灯)



2.

操作部のディスプレイが1500を表示する



3.

5秒後にセルが回りエンジンが始動し、カウントダウンを始める



4.

リモコンのスイッチをストップ側へ、2〜3秒スライドさせる (LED点灯) エンジンがストップする



1 ストップ回路(Err-表示)の確認

確認 リモコンでエンジン始動のテストを行ない、3. でカウントダウン中にイグニッションキーをACCに回し、フットブレーキを踏んでATシフトをPからRにして、エンジンが止まらず、Err-表示を5秒間すればOK。

トラブル 2. の時、Err-表示になる場合

対策

ブレーキ(黄)コードをフットブレーキへ配線してある場合

- ①ブレーキ(黄)コードと延長(黄)コードが抜けていませんか?
- ②ブレーキ(黄)コードをブレーキスイッチコードの常時12Vと結線していませんか?
- ③ブレーキ(黄)コードとブレーキスイッチコードのタップ結線が甘くないですか?
- ④①②③がOKでもErr-なら、サイドブレーキを解除して12Vのコードへタップで結線してください。

ブレーキ(黄)コードをフットブレーキへ配線していない場合

- ⑤ブレーキ(黄)コードと黒コードが抜けていませんか?
- ⑥リレー部のATシフトストップスイッチを「1」の場合2へ、「2」の場合1へ変更してください。
- ⑦⑤⑥がOKでもErr-なら、ブレーキ(黄)コードを黒コードから抜いて、フットブレーキへ配線してください。

トラブル 3. の時、セルが一回だけ回り、エンジンがかからずErr-表示になる又は電源が切れる。

対策

- ①バッテリーの電圧不足又は容量不足のため、バッテリー交換の時期ではないでしょうか?
(再テスト時に、エアコンファン最高、熱線など電気負荷を与えた時に同じ症状になりますか?)
- ②アースの接点不良のため別の場所B. (アース端子(黒コード)の正しい取付け)に従ってください。

トラブル 3. の時、フットブレーキを踏んでATシフトをPからRにしてエンジンが止まらない場合

対策

ブレーキ(黄)コードをフットブレーキへ配線してある場合

- ①車のストップランプのヒューズが切れていませんか?
- ②①がOKでもErr-なら、「サイドブレーキを解除して12Vのコード」へタップで結線してください。

ブレーキ(黄)コードをフットブレーキへ配線していない場合

- ③4. 専用ハーネス・リレー部の配線)で灰色のコードのさし替えを行ないましたか?
- ④リレー部のATシフトストップスイッチを「1」の場合2へ、「2」の場合1へ変更してください。
- ⑤③④がOKでもErr-なら、ブレーキ(黄)コードを黒コードから抜いて、フットブレーキへ配線してください。

トラブル 3. の時、セルモーターが回り続ける場合

対策 ブレーキ(黄)コードを黒コードから抜いて、フットブレーキへ配線してください。

2 セルタイムの確認

確認 リモコンでエンジン始動のテストを行ない、3. でセルモーターの回る時間を確認する。



- セルタイムを短かくする場合
- ポリウム用ドライバーで左方向へ回す。
- セルタイムを長くする場合
- ポリウム用ドライバーで右方向へ回す。

セットについて

3 エンストポジションボリュームの確認

確認 リモコンでエンジン始動のテストを行ない、2. でディスプレイのドットが消えていて、3. でドットが点灯すればOK。

トラブル 3. の時、「エンジンが始動しすぐに止まる」を3回くり返す場合

対策 2. エンストポジションボリュームの調整に従って再調整してください。

4 キースイッチ優先回路の確認

確認 リモコンでエンジン始動のテストを行ない、3. でカウントダウン中にイグニッションキーをONまで回して、カウントダウンが中止すればOK。

注意 イグニッションキーをセルまで回すと、セルモーターが故障する恐れがありますので、ONの位置で止めてください。

トラブル 3. の時に、イグニッションキーをONの位置にしてもカウントダウンが止まらない場合

対策 ①イグニッションキーと専用ハーネスとリレー部の緑コードが接触不良になっていませんか？
②専用ハーネスが間違っていないですか？

5 ホーン機能の確認

●(別売) オプションBe-958ホーンリレーを配線した時のみ作動します。

確認 リモコンでエンジン始動のテストを行ない、3. でカウントダウン中にリモコンのスイッチをスタート側へスライドして、ホーンが約0.2秒鳴ればOK。

トラブル 3. の時リモコンのスイッチをスタート側へスライドしてもホーンが鳴らない。

対策 ①ホーン用コードのヒューズ又は車のホーンヒューズが切れていませんか？
②車のホーン方式(プラススイッチ方式・マイナススイッチ方式)に対して配線方法が間違っていないですか？

6 ボンネットスイッチの確認

確認 リモコンでエンジン始動のテストを行ない、3. でカウントダウン中にボンネットスイッチを付けたボンネットレバーを引くと電源が切れ、エンジンがストップします。次に、イグニッションキーをONにしてパワースイッチを押して電源が入ればOK。

セットについて

4. リモコンについて

注意

- リモコンのスイッチは一度電波を出した後は、2秒以上経過してからスイッチを入れないと電波が出ません。
- 駐車時、高温になる車内などにリモコンを置かないでください。
- リモコンを落下するなど強いショックを与えないでください。

はたらき



リモコンの機能	スイッチ
リモコンでエンジン始動する時	スタート
リモコンでエンジンストップする時	ストップ
エンジン始動確認する時(日e-958の配線が必要)	スタート
タイマースタートでカウントダウン中にエンジンを止める時	ストップ
ターボタイマーでカウントダウン中にエンジンを止める時	ストップ
IDメモリーのセットする時	スタートストップ両OK

■電池の交換について

- 電波の飛距離が短くなってきた時は電池の交換をしてください。
- 電池はコイン型マンガンリチウム電池 CR2025×2個を使用してください。
- 電池をホルダーにはめる時は、ホルダーの+と2個の電池の+を同じ向きにしてください。

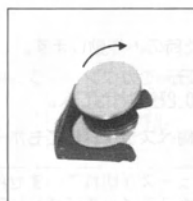
1.

リモコンを裏側に向け左下側のスキームに爪を入れ引き出す



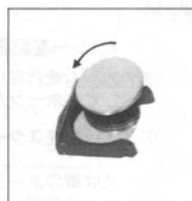
2.

2個の電池をホルダーからはずす



3.

新しい電池を2個共ホルダーの+と同じ向きにはめる



4.

リモコンにホルダーをはめる



■リモコンを紛失した時は、

- 本機はIDメモリー方式(リモコンのIDを操作部に記憶させて使用する方式)を採用しているため、リモコンと操作部をセットで交換する必要がありません。したがってリモコンのみの購入で再使用することができます。

購入方法

ご購入された販売店でピータイム328のリモコンをご注文してください。

販売価格 15,000円(税別)



5. 時計のセット

セット方法

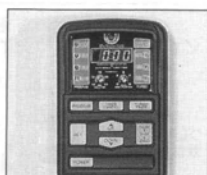
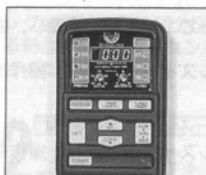
例えば、時計の時刻を「昼の12時34分」に合せる。

- 時間表示は24時間制です。
- セットする時は、イグニッションキーでエンジンを始動し、ATシフトをPポジションで行なってください。

アドバイス

- B.のSETを押した時に0秒になります。
- B.のSETを押さずにイグニッションキーをオフにすると元の設定にもどります。

1. POWER ON
2. PROGRAM スイッチで表示をCLOCKに合せる
3. SETを押す
4. HUR/MIN/SECで“時の桁”を点滅させる



5. UPまたはDOWNで“時の桁”を合せる((注)24時間制)
6. HUR/MIN/SECで“分の桁”を点滅させる
7. UPまたはDOWNで“分の桁”を合せる
8. SETを押す



6. タイマースターター時刻の予約セット

セット方法

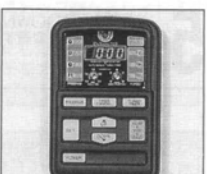
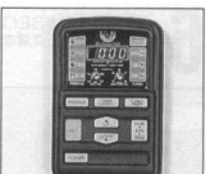
例えば、1回目のタイマースターター時刻の予約を「朝の7時15分」に合せる。

- 時間表示は24時間制です。
- セットする時は、イグニッションキーでエンジンを始動し、ATシフトをPポジションで行なってください。

注意

- タイマースターター時刻で000は予約されていない表示として扱ってください。したがって000を予約してもタイマースタートしませぬ。

1. POWER ON
2. PROGRAM スイッチで表示をTIMERに合せる
3. SETを押す
4. HUR/MIN/SECで“時の桁”を点滅させる



5. UPまたはDOWNで“時の桁”をアにする((注)24時間制)
6. HUR/MIN/SECで“分の桁”を点滅させる
7. UPまたはDOWNで“分の桁”を15にする
8. SETを押して完了



1日に2回分のタイマースターター時刻の予約を入れるには

PROGRAMスイッチでTIMERに合せてから3.~8.の手順をくり返してください

セットについて

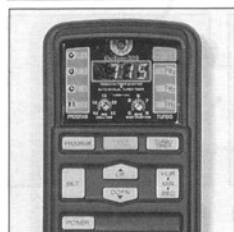
7. タイマースタートのキャンセル

タイマースタートをキャンセルする方法には、下記の2パターンあります。

1. タイマースタート時刻を予約していない状態にする方法

6. (タイマースタート時刻の予約のセット)と同じ方法で000(予約していない表示)にセットしてください。

2. タイマースタート時刻を残したまま、一時的にキャンセルする方法



1. イグニッションキーでエンジンを始動し、操作部の電源を入れる。
2. タイマーキャンセルスイッチを押し、操作部のタイマーキャンセルが点灯すればOK。

再び元の時刻でタイマースタートさせる場合は

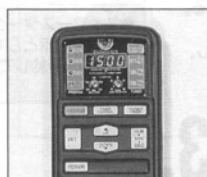
タイマーキャンセルスイッチを押し、操作部のタイマーキャンセルが消えればOK。

8. リモコン・タイマーでエンジンスタートさせた時のアイドリング時間の変更

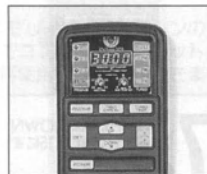
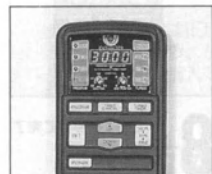
セット方法 例えば、「30分50秒」のアイドリングに合せる。

- アイドリング時間の初期設定(変更しない場合)は15分です。
- アイドリング時間は、0~59分59秒まで設定できます。
- セットする時は、イグニッションキーでエンジンを始動し、ATシフトをPポジションで行なってください。

1. POWER ON
2. PROGRAM スイッチで表示を WARMに合わせる
3. SETを押す
4. HUR/MIN/SEC で"分の桁"を点滅させる



5. UPまたはDOWNで"分の桁"を変更する
6. HUR/MIN/SECで"秒の桁"を点滅させる
7. UPまたはDOWNで"秒の桁"を変更する
8. SETを押して完了





9. マニュアルターボタイマーのセット








▲ 注意



- ターボタイマーを使用する時、日産AT車でキーロックリレーアダプターを装着した車は、ATシフトがPポジション以外でもイグニッションキーが抜けるようになります。
- 従って暴走事故を防止するため、ATシフトをPポジションに入れた事を確認してからイグニッションキーを抜いてください。

セット方法

例えば、マニュアルターボタイマーを「3分45秒」に合せる。

- マニュアルターボタイマーはTURBO ・TURBO の2パターンのアイドリング時間をあらかじめセットしておけます。
- アイドリング時間は、0～59分59秒まで設定することができます。
- セットする時は、イグニッションキーでエンジンを始動し、ATシフトをPポジションで行なってください。




1. POWER ON	2. TURBO TIMER スイッチを押して TURBO  にする	3. SETを押す	4. HUR/MIN/SECで "分の桁"を点滅させる
			
5. UPまたはDOWNで "分の桁"を3にする	6. HUR/MIN/SECで "秒の桁"を点滅させる	7. UPまたはDOWNで "秒の桁"を45にする	8. SETを押して完了
			

TURBO にタイムを入れるには、2.の動作でTURBO に合せてから3.～8.の手順をくり返してください。

●カウントダウン中にエンジンを止める時は

リモコンのスイッチをストップ側へスライドする又はパワースイッチをオフにしてください。パワースイッチでオフにした時、次に使用する場合にはパワースイッチをオンにしないと使用できません。

●ターボタイマーを使用しない時は

PROGRAMスイッチを押してAUTO ・TURBO ・TURBO の表示を消してください。

●カウントダウン中に走行する時は

イグニッションキーをONの位置まで回し、フットブレーキを踏みながらATシフトをチェンジしてください。

●マニュアルターボタイマーでカウントダウン中にアイドリング時間を一時的に変更する場合は

カウントダウン中に、上記「セット方法」の3.～8.を行なうとアイドリング時間の変更ができます。

セットについて

10. オートターボタイマーについて

▲ 注意

- ターボタイマーを使用する時、日産AT車でキーロックリレーアダプターを装着した車は、ATシフトがPポジション以外でもイグニッションキーが抜けるようになります。
- 従って暴走事故を防止するため、ATシフトをPポジションに入れた事を確認してからイグニッションキーを抜いてください。

オートターボタイマーとは

走行時のエンジン回転（オルタネータの回転数）をL端子又は電源から読み取り、10秒に1回そのデータをカウントして合計60回分のデータでターボタイマーの時間を設定します。したがって走行状態によってカウントが変化し、最良のアイドルタイムを表示します。

トラブル

オートターボタイマーはオルタネータの回転数を読み取って作動しますが、そのオルタネータの信号は、下記の状態に影響を受けやすく、うまく作動しない場合があります。

1. 消費電力が大巾に変わった時（ライト・熱線など）
2. モーターの回転に変化があった時（オートエアコン・デュアルエアコン・ワイパー・電動ファンなど）
3. オルタネータの充電が不安定又は変化があった時

対策

- 消費電力の変化やモーターの回転に変化があった時などに対して、その変化量を除去してカウントすることができません。しかし、この変化量を含めたカウントに対して、予め、定数を変更することでカウントを上下させることができます。
(12. オートターボタイマーの定数変更参照)
- 定数を変更しても正常に作動しない場合は、マニュアルターボタイマーをご使用ください。

11. オートターボタイマーのセットと確認

セットと確認の方法

- セットする時は、イグニッションキーでエンジンを始動し、ATシフトをPポジションで行なってください。
- 2. (動作検出方法の選択)で、L端子配線なら操作部裏のスイッチ「1、2を共にL」、電源から自動検出なら「1、2を共にA」にしてください。
- 正規のアイドル回転にして、エアコンやその他の電装品をオフにしてください。

- | | | | |
|----------------------|---|---------------------------------|---|
| 1.
POWERON | 2.
TURBO TIMER
スイッチを押して
AUTOにする | 3.
20秒以上アイドル
で放置する | 4.
アクセルを踏み、2000
回転を保ち1回分の
カウントが1~4秒
前後ならOK |
|----------------------|---|---------------------------------|---|



- 5.** エアコン・ライトやその他の電装品をオンにして2000回転で1回のカウントが1~4秒前後ならOK



- 6.** 電装品をオンのまま、アイドル回転にし、カウントが10秒毎に1秒減算すればOK



4.5.6.でカウントが多すぎたり、少なすぎる場合は

12. (オートターボタイマーの定数変更)を行なって希望のカウントになるようにしてください。

12. オートターボタイマーの定数変更

●オートターボタイマーのカウントの上がり方を調整することができます。



カウントを多く上げたい場合の定数	1~5
カウントを上がりにくくする場合の定数	-1~-5

●ライトやエアコンの風量など電装品の使用状態によって電気ノイズや信号が変化するためカウントの上がり方が変わります。したがって、電装品を使用している時としていない時の平均を見て定数を調整してください。

セット方法

- セットする時は、イグニッションキーでエンジンを始動し、ATシフトをPポジションで行なってください。
- 正規のアイドル回転にして、エアコンやその他の電装品をオフにしてください。
- 2. (動作検出方法の選択)でL端子配線なら操作部裏の「スイッチ1、2を共にL」、電源から自動検出なら「1、2を共にA」にしてください。

1. POWERON	2. TURBO TIMER スイッチを押して AUTOにする	3. SETを押す	4. UPまたはDOWNで 定数を入力する
			

5. SETを押す	アクセルを踏み、2000回転を保ち 1回分のカウントが変れば OK	
	確認	

カウントの上がり方をもつと変える場合は
3.4.5.を行なって、定数を入れ直してください。

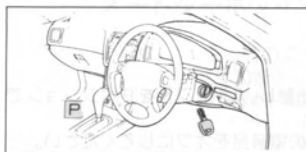
セットについて

13. コード収納・据付

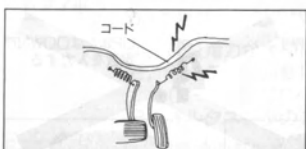
●取付け、各機能の確認後にコードの収納・据付を行なってください。

▲ 危険

誤ったピータイム (操作部・リレー部・コード類) の収納方法は、月日が過ぎてからでも、事故や火災などのアクシデントを引き起す原因になります。下記の注意を守って作業を行なってください。



作業中、イグニッションキーは必ず抜き、ATシフトはP、ハンドブレーキをしっかりと利かせてください。



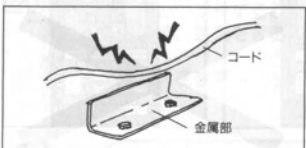
●ピータイムを収納すると、ピータイムのコードや車のコードが移動してコードが車の金属部 (ペダル・スプリング・鋭利な鉄板など) に触れやすくなります。

コードを収めるスペースで車の金属部がある場合、予め付属のコード保護テープを貼って置いてください。

(収納時にコードの被覆を削ってしまう事も防止してください。)

●コード保護テープは貼り直しができません。コードの配線確認や配線のやり直しなどを考えて、「コードではなく、金属部に貼ってください。」

●特にブレーキのスプリングは保護してあっても危険です。絶対にコードが触れない場所を選択して配線してください。



コード保護テープ



インシュロック(小)

据付



●操作部はZステーと両面テープでフラットな面に取付けてください。

●車のダッシュボードなどにそのまま両面テープを使用又は、貼り直しをすると、十分な接着力が得られません。

●両面テープを貼る面は中性洗剤などで完全に油分やよごれを落し空ふきをしてから、貼り直しをせずに取付けてください。

●リレー部はリレー部固定用インシュロック (大) で車の配線などに共締めしてください。



車のL端子コードの色一覧表 1

この表の中から、あなたのお車のL端子線の色をご確認の上、間違いないように配線して下さい。
1996.7月現在

B	BR	CH	DG	G	GY	L	LG	OR	P	R	SR	W	Y
黒	茶	こげ茶	暗緑	緑	灰色	青	若葉色	橙色	桃色	赤	空白色	白	黄

TOYOTA

	年 式	L端子の色
スターレット	S59. 1~	Y/W
スターレット	H1.12~(4E-F 1N)	Y/B
スターレット	H1.12~(その他)	Y/R
カローラⅠ・ターセル・コルサ	S61.5~(ガソリン)	Y/R
カローラⅠ・ターセル・コルサ	S61.5~(ディーゼル)	Y
カローラⅡ・ターセル・コルサ	H2. 9~	Y
カローラⅢ・ターセル・コルサ	H6. 9~	Y/B
サイノス	H3. 1~	Y/B
セラ	H2. 3~	Y/B
セレス・マリノ	H3. 6~	Y
カローラスプリンター・レバンテノ	S62. 5~	Y
カローラスプリンター・レバンテノ	H3. 6~	Y
カローラスプリンター・レバンテノ	H7. 5~	Y
カローラFX	S60. 5~	Y
カローラFX	H1. 6~	Y
カリブ	全 車	Y
MR-2	S59. 6~	Y
MR-2	H1. 10~	Y
セリカ	S58. 5~	Y
セリカ	H1. 9~	Y
セリカ	H5. 10~	Y
カレン	H6. 1~	Y
カリナ・コロナ	H1.8~(3E-J)	Y/W
カリナ・コロナ	H1.8~(その他)	Y
カリナ・コロナ	H4. 8~	Y/R
ED・EXIV	H1. 9~	Y
ED・EXIV	H5. 10~	Y
カルティナ	H4. 11~	Y/R
カムリ・ビスタ	S61. 8~	Y
カムリ・ビスタ	H2. 7~	Y
カムリ・ビスタ	H6. 7~	Y
ウインダム	H3. 9~	Y

	年 式	L端子の色
アパロン	H7. 5~	Y
セブター	H4. 8~	Y
マークⅡ・クレスタ・チェイサー	S63. 9~	Y
マークⅡ・クレスタ・チェイサー	H4. 5~	Y/G
スープラ	S61. 2~	Y
スープラ	H5. 5~	Y/G
ソアラ	S59. 1~	Y
ソアラ	S63. 1~	Y/G
ソアラ	H3. 5~	Y/G
アリスト	H3. 10~	Y
クラウン	S62. 9~	Y
クラウン	H3. 10~	Y
マジستا	H3. 10~	Y
セルシオ	H1. 1~	Y
セルシオ	H6. 10~	Y
タウンエスライトエースマスターエース	S60.8~(4/5K-J)	Y
タウンエスライトエースマスターエース	(その他)	W
タウンエスライトエースマスターエース	H4. 1~	W
ハイエース	S57. 12~	Y/B
ハイエース	H1. 9~	Y
エスティマ	H2. 5~	Y
エスティマルーダ・エミーナ	H4. 1~	Y
RAV-4	H6. 5~	Y
ハイラックス	S63. 9~	Y/B
ハイラックス	H2.8~(3Y-E)	Y
ハイラックス	(その他)	Y/B
ハイラックス	H3.9~(3VZ-E)	Y
ハイラックス	H3.9~(その他)	Y/B
ランドクルーザーブラド	全 車	W/L
ランドクルーザー80	H1.9~H6.12	Y/W
ランドクルーザー80	H7. 1~	Y/L

MAZDA

	年 式	L端子の色
キャロル	H2. 2~	W/R
AZ-1	H3. 6~	W/R
ボンゴ	S61. 11~	Y/L
ボンゴブレンディ	H7. 5~	L/OR
その他のマツダ系車		W/B

HONDA

	年 式	L端子の色
ホライゾン	H6. 2~	W/G
その他のホンダ系車		W/L

ISUZU

	年 式	L端子の色
ジェミニ	H2. 3~	W/L
ジェミニ	H5. 8~	W/L
PAネロ	H3. 6~	W/L
ピアッツァ	H3. 7~	W/L
アスカ	H2. 5~	W/L
ファゴ	全 車	W/L
ビッグホーン	H3. 11~	W/G
ビッグホーン	H7. 6~	W/G
ミュー	H1. 5~	W/L
ファスターロード	H1. 9~	W/L

SUZUKI

	年 式	L端子の色
全 車		W/R

車の「端子コード」の色一覧表

車のL端子コードの色一覧表2

NISSAN

	年式	L端子の色
マーチ	S63.5~(MAIOS)	R
マーチ	S63.5~(その他)	W/R
マーチ	H4.1~	Y/R
Be-1・パオ・フィガロ	S62.1~	W/R
サニー・ローレルスピリット	H2.1~	Y/R
サニー・ルキノ	H6.1~	Y/R
NXクーペ	H4.1~	Y/R
バルサー	H2.7~	Y/R
バルサー	H7.1~	Y/R
アベニール	H2.5~	Y
プリメーラ	H2.2~	Y/R
プレセア	H2.6~	Y/R
プレセア	H7.1~	Y/R
ブルーバード・ブルーバードアテッサ	S63.9~	W/R
ブルーバード・ブルーバードアテッサ	H3.9~	Y/R
ラングラー・リベルタピラ	S60.9~	W/R
シルビア	S63.5~	W/R
シルビア	H5.10~	W/R
180SX	H1.3~	W/R
セフィーロ	S63.9~	W/R
セフィーロ	H6.8~	W/R
スカイライン	S60.8~	W/B
スカイライン	H1.5~	W/R
スカイライン	H5.8~	W/R
ローレル	H1.1~	W/R

	年式	L端子の色
ローレル	H6.9~	W/R
レパード	S60.10~	W/B
レパードJフェリー	H4.6~	B/Y
クルー	H6.1~	GY/Y
セドリック・グロリア	S62.6~	LG/B
セドリック・グロリア	H3.6~	Y/G
セドリック・グロリア	H7.6~	W/R
フェアレディZ	S58.9~	BR/W
フェアレディZ	H1.7~	W/R
シーマ	S63.1~	LG/B
シーマ	H5.9~	Y/G
インフィニティQ45	H1.11~	W/R
プレジデント	H2.10~	W/R
プレーリー	S63.9~	W/R
パネットラルゴ	S60.8~	Y
ラルゴ	H5.9~	W/R
セレナ	H3.9~	W/R
キャラバンホーミー	S63.5~	W/R
キャラバンホーミー	H2.5~	W/R
ラシオン	H6.12~	Y/R
テラノ	S61.8~	Y/B
ミストラル	H6.6~	GY/L
サファリ	H6.10~	W/R
エスカルゴ	H1.1~	W/R
ADクワン・サニー・カルフォルニア	H5.8~	Y/R

車のL端子コードの色一覧表

MITSUBISHI

	年式	L端子の色
ミニカ	H1.1~	L
ミニカ	H5.9~	L
ブラボ	H3.10~	L
ミラージュ・ランサー	S62.9~	W
ミラージュ・ランサー	H3.10~	L
リベロ	H4.5~	L
ギャラン・エテルナ	S62.8~	W(取付不可)
ギャラン・エテルナ・エムロード	H4.5~	W
シグマ・ディアマンテ	H2.10~	W(取付不可)
ディアマンテ	H7.1~	W
シャリオ	H3.5~	L
RVR	H3.1~	L
スタリオン	S59.6~	W
エクリプス	H2.4~	B/W
エクリプス	H7.6~	B/Y
FTO	H6.11~	W/G
GTO	H2.10~	L
デボネア	H1.10~	W(取付不可)
デボネア	H4.10~	W
デリカ(スターワゴン)	S61.5~	L
デリカ(スペースギア)	H6.6~	W
パジェロ・ミニ	H6.12~	L
パジェロ	S61.5~	W(取付不可)
パジェロ	H3.1~	W

DAIHATHU

	年式	L端子の色
ミラ	H2.3~	W/R
ミラ	H6.9~	W/R
リーザ	S63.9~	W/G
オブティ	H4.1~	W/R
アドレー	S63.10~	W/G
アドレー	H6.1~	取付不可
シャレード	S62.1~S63.7	W/R
シャレード	S63.8~	Y/W
シャレード	H5.1~	取付不可
ラガー	全車	W/R
ロッキー	H2.6~	Y

SUBARU

	年式	L端子の色
レックス	S61.11~	W/R
ヴィヴィオ	H4.3~	W/R
サンバー	H2.3~	W/R
ドミンゴ	S61.6~	W
ジャスティ	S62.10~	W/R
インプレッサ	H4.11~	B/W
レガシー	H1.2~	B/W
レガシー	H5.10~	W
アルシオーネ	S60.5~	W/R
アルシオーネSVX	H3.10~	W

SUZUKI